

研究会のお知らせ

日程：2025年8月31（日）13：30～15：00

※日本武道学会総会終了後に開催予定。

場所：法政大学 多摩キャンパス

<https://budo-conference.jp/access/>

※対面+Zoomによるハイブリッド形式を予定しています。

参加費：無料（会員以外の方もご参加いただけます）

参加方法について：

参加をご希望の方（会員・非会員問わず）は、
8月18日（月）までに「申込フォーム（QRコード）」より
お申し込みください。

※お申し込みいただいた方には、後日、研究会の詳細情報
（Zoom URL 等）をお送りします。

※QRコードはスマートフォンのカメラで読み取るか、
クリックしてアクセスしてください。



「会場アクセス」



「申込フォーム」

題名：武道の未来をつなぐ：道具と職人から考える持続可能な取り組み

～する・みる・ささえる取り組みの事例から持続可能なSDGsを考える（第2弾）～

講師：木村有里氏（聖心女子大学）

内容：今年度の研究会では、「道具」に注目し、武道の持続可能性について考えます。

現在、武道具の材料入手の困難さや職人の高齢化・減少といった課題が深刻化しており、「なぎなた」を含む武道の継続にも影響が及び始めています。

第1部では、なぎなた用具の故障状況や使用実態、持続的な活用への意識を明らかにするとともに、道具の歴史や実施者が現場で直面する課題、職人技術の現状を紹介し、武道具の持続可能性について考察します。

第2部では、参加者自身が武道具の修理や手入れを体験し、「道具を大切に使い続ける」という意識や実践的なスキルの習得を目指します。

本研究会を通じて、「する・みる・ささえる」すべての立場から、武道の持続可能な未来について考える機会となれば幸いです。

2部の体験会について：

必要な持ち物（ご自身でご準備いただくもの）：修理が必要なすねあて、先のとがったはさみ、
セロハンテープ

修理体験キット内容：革ひも（すね用） ¥500、ラジオペンチ ¥220

※送料別、先着20名様まで購入可能です。購入希望の方は申込フォームよりお申し込みください。

お問い合わせ：本研究会に関するお問い合わせは、事務局までメールにてご連絡ください。

日本武道学会なぎなた専門分科会事務局

<https://nagilabo2020.wixsite.com/naginata>

 nagilabo2020@gmail.com